

AUDEMARS PIGUET

{ 進化する定番をYOSHIDAで体感 }

Text by Yoko KOIZUMI



1875年、スイス・ジュウ溪谷のル・ブラッシュで創業したオーデマピゲは、いまなお創業家による独立経営を守り続ける世界有数のマニファクチュールだ。これまで時計史に残る多くのモデルを開発し、魅力あふれるコレクションに発展させてきたが、その代表格ともいえるのがこの3本だ。

右は2019年にデビューした「CODE 11・59 バイ オーデマピゲ」の三針モデルの最新作。一見すると正統派ドレスウォッチだが、ベゼルとケースの間に、八角形のミドルケースを挟むというユニークなケース形状を持ち、瞬く間に人気となったコレクションだ。ここで紹介する直径38ミリというサイズは日本人の腕とのバランスもよく、パトナーとのシェアウォッチとしてもおすすめだ。

この「八角形」意匠の原型が1972年誕生の「ロイヤル オーク」で、50年を超えてなおオーデマピゲの人気コレクションである。中央の「ロイヤル オーク オフショア ダイバー」は300メートル防水というタフなボディが特徴で、2026年新作ではダイヤルにアクセントカラーとしてビビッドなピンクを採用。着脱しやすいインターチェンジブル仕様のストラップを備え、好みにあわせてカラーや素材を変えることもできる。本格的なダイビングからタウンユースまで、幅広いシーンで楽しめる一本だ。左も同じく2026年の新作、「ロイヤル オーク オフショア クロノグラフ」だ。チタンケースにブラックセラミック製のベゼルとプッシュボタン、リュウズを組み合わせた力強さと精悍さが特徴のモデル。PVD加工で仕上げたスモークグリーンダイヤルとの新たなカラーリングに注目だ。

文・小泉庸子

右：「CODE 11.59 バイ オーデマピゲ オートマティック」自動巻き、PGケース、径38mm、30m防水、5,170,000円
中：「ロイヤル オーク オフショア ダイバー」自動巻き、SS+セラミックケース、径42mm、300m防水、4,510,000円
左：「ロイヤル オーク オフショア クロノグラフ」自動巻き、チタンケース+セラミックベゼル、径43mm、100m防水、6,435,000円 *すべて税込 下：オーデマピゲの時計製造の頂点を極めたブランド哲学が体感できる「オーデマピゲ サロン」。定番モデルから上記3モデルを加えた最新コレクションをラインナップ。



Information

YOSHIDA 東京本店

住所：東京都渋谷区幡ヶ谷2-13-5

電話：03-3377-5401

営業時間：10:30～19:30

定休日：年中無休（年末年始を除く）

<https://watch-yoshida.co.jp>